



2022年9月16日

自社契約電力の再生可能エネルギーへの切り替えについて

千葉銀行（頭取 米本 努）は、2022年10月1日より、自社契約電力を再生可能エネルギー由来の電力へ切り替えることとなりましたのでお知らせします。

当行は2022年3月、2030年度までにカーボンニュートラル^{※1}達成を目指すことを公表し、CO₂排出量削減に向けて取り組んでいます。本件により、当行における、自社契約電力^{※2}の実質再生可能エネルギー化^{※3}が実現し、当行グループのCO₂排出量を2021年度比6割程度削減できる見込みです。

当行はこれからも、自行のカーボンニュートラル達成に向けた取組みを強化するとともに、取引先のお客さまに対するCO₂排出量計測態勢の整備に関するご支援や、サステナブル・ファイナンスによるご融資等を通じ、地域とともに「脱炭素社会」の実現に向けた取組みを一層加速させてまいります。

- ※1 CO₂排出量をネットゼロにすること。当行ではCO₂排出にかかるScope 1（直接排出量）とScope 2（エネルギー起源間接排出量）を対象とする。
- ※2 低圧電力を除いた原則として全ての自社契約電力。
- ※3 電力と、FITおよび再生可能エネルギー指定の非FIT由来の非化石証書を電力会社から購入することで、実質的にCO₂排出量ゼロの再生可能エネルギー由来の電力を使用することとなる。

以上

<本件の取組みに関するゴール>

